

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高校教育指導課
 担当名: 教育課程担当
 内線: 6771

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
P27	共生社会の形成に向けた特別支援教育推進事業 (高校教育指導課)	一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	特別支援教育推進費	
事業期間	平成25年度～	根拠法令	障害者基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律	針路分野施策	07 誰もが活躍し共に生きる社会の実現 0703 障害者の自立・生活支援	SDGsゴール 4 SDGsターゲット 4-1, 4-2, 4-3, 4-4	
1 事業概要	<p>インクルーシブ教育の理念に基づき、障害のある生徒が、県立高校で安心・安全な学校生活を送れるよう支援を行う必要がある。県立高校に生活介助支援員を配置し、身体障害のある生徒の日常生活の介助を行う。また、高校通級制度の開始に伴い、研究校を指定し通級指導の研究を行う。さらに、外部の専門家を活用した高校巡回支援により、支援の充実や教員の指導力の向上を図る。</p> <p>イ 県立高校通級指導研究事業 見込みを下回ったことによる減額 △2,214千円</p> <p>ウ 外部人材による高等学校への巡回支援 見込みを下回ったことによる減額 △60千円</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)	<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 県立高校教育環境整備支援事業 2,316千円 身体障害のある生徒に対し、日常生活の介助を目的に生活介助支援員を配置 修学旅行等校外行事への支援員の同行及び必要用品(車椅子等)の貸与</p> <p>イ 県立高校通級指導研究事業 6,640千円 → 4,426千円 高校通級制度の開始に伴い、研究校を指定し通級指導の研究を行う。</p> <p>ウ 外部人材による高等学校への巡回支援 3,841千円 → 3,781千円 臨床心理士等の専門家を活用した巡回支援により、個々の生徒への支援の充実、人材の育成、教員の指導力の向上</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 県立高校教育環境整備支援事業 障害のある高校生が安心・安全な学校生活を送れるよう、生活介助支援員の配置など新しい視点で支援を行っていく。</p> <p>イ 県立高校通級指導研究事業 研究校において、通級指導の実施、通級理解の促進、教材等の整備を行い、適切な指導体制の在り方を研究する。</p> <p>ウ 外部人材による高等学校への巡回支援 拠点校において、臨床心理士等の専門家を活用した巡回支援を行い、個々の生徒への支援の充実させ、人材を育成し、教員の指導力を向上させる。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 県立高校教育環境整備支援事業、各学校における支援の標準化、安心で安全な学校生活環境の整備</p> <p>イ 県立高校通級研究事業、適切な通級指導体制の確立</p> <p>ウ 巡回支援による校内支援体制の整備</p> <p>(4) 補正予算の概要 臨床心理士等の謝金が見込みを下回ったこと等による減額</p>						
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)高等学校費(細目)生徒経費 (細目)生徒経費 (積算内容)特別支援教育支援費							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.8人=7,600千円							
予算額		財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,274					△2,274	10,523
現計額	12,797					12,797	

事業内訳書

事業名	共生社会の形成に向けた特別支援教育推進事業（高校教育指導課）		
単位事業名	県立高校通級指導研究事業	予算額	△ 2,214千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△2,214	—	
合計	△2,214	—	

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△2,053	—	臨床心理士等の謝金が見込みを下回ったことによる減
旅費	△67	—	節約及び見込みを下回ったことによる旅費の減
需用費	△89	—	節約及び見込みを下回ったことによる消耗品の減
使用料及び賃借料	△5	—	節約及び見込みを下回ったことによる使用料の減
合計	△2,214	—	

単位事業名	外部人材を活用した高等学校への巡回支援	予算額	△ 60千円
-------	---------------------	-----	--------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△60	—	
合計	△60	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△60	—	臨床心理士等の謝金が見込みを下回ったことによる減
合計	△60	—	